

**令和6年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立小野田小学校長

令和6年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	67.7%	○				
算数	63.4%	○				

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	64.4%	○				
情報の扱い方に関する事項	86.9%	○				
我が国の言語文化に関する事項	74.6%					○
話すこと・聞くこと	59.8%	○				
書くこと	68.4%	○				
読むこと	70.7%	○				

【考 察】

- 漢字の書き取りや話し言葉と書き言葉の違いなどの「言葉の特徴や使い方に関する事項」に課題があります。普段の授業において文章を書く中で、漢字や話し言葉と書き言葉を正しく使うことができるように意識して指導をしていきます。
- 自分の考えが伝わるように表現することに課題がみられます。授業や委員会活動等で、聞き手の表情や反応によって話し方や内容を変えるなど聞き手を意識した発表ができるように指導していきます。また、分からない点や確かめたいことを質問しながら聞いたり、話し手の考えと比較して共通点や相違点を整理しながら、話したり聞いたりする力も身につけさせていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	66.0%	○				
図形	66.3%		○			
変化と関係	51.7%	○				
データの活用	61.8%	○				

【考 察】

- 記述式の問題に課題がみられました。答えを出すことはできても、かける数や積、倍といった用語を使って説明することができていなかったり、条件にあっていなかったりする解答が見られました。問題をよく読み、書かれている条件を読み取ることや、用語を使って分かりやすく説明することができるように意識して指導していきます。
- 目的に応じて収集したデータを整理し、表やグラフを用いて、身の回りの事象について考察する問題に課題がみられました。授業で学んだことを生かして問題を解く時間を授業の最後に設定したり、宿題で基本的な内容と発展的な内容にバランスよく取り組ませたりすることで、学力の向上につなげていきます。

令和6年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立小野田小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小	全 国	30.3	50.4	16.2	3.1
6	小野田	10.0	80.0	10.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- ほとんどの児童が、分からないことをそのままにしないようにするという意欲が高まっています。自分で教科書やノートを見返したり、担任に積極的に質問に来たりする姿が多く見られます。
- 学習の中で、子ども達自身が新たな課題を見つけようとしたり、より詳しく知りたいという意欲を高めたりすることができるように、日々の授業を工夫、改善していきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	11.0	12.5	31.1	27.0	13.0	5.3
6	小野田	20.0	0.0	40.0	30.0	10.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 家庭学習時間の目安「学年×10分+10分」（6年生は70分）を達成できている児童とできていない児童にばらつきがあります。家庭でも積極的に学習に取り組めるように、家庭学習の取り組み方を指導したり、よい取り組みをしている児童の学習内容を紹介したりしながら家庭での学習習慣が身につくようにしていきます。
- 家庭学習の充実には、ご家庭の協力が必要不可欠です。「ふくしまの家庭学習スタンダード」を活用しながら、学校・家庭・地域で連携し、子ども達の望ましい学習習慣の確立を図っていただけるように、引き続きご協力をお願いいたします。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小	全 国	31.9	48.9	16.0	3.1
6	小野田	30.0	50.0	10.0	10.0

(単位 %)

【考 察】

- 学習した内容を見直し、次の学習につなげようという児童が多いことが数値から見て分かります。学習内容は全て学びの連続であり、前の学習を生かして新たな学びにつながっていくことがほとんどです。学習内容を整理し、分かった点やよく分からなかった点、さらに詳しく知りたいことなどをまとめられるように、時間を確保したり授業の要点を分かりやすくまとめたりするなど、授業の改善を図っていきます。
- 次の学習につなげようとする意欲をさらに高めていくと同時に、学習内容を確実に定着させるために「分かる授業」に努め、日々の授業研究はもちろん、全校で研修の機会を設けてよりよい授業のための情報共有等を行い、授業の改善を図っていきます。

4 今回の国語の問題では、解答を文章で書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。

		全ての書く問題で 最後まで解答を書 こうと努力した。	書く問題で解答しな かったり、解答を書 くことを途中であき らめたりしたものが あった。	書く問題は全く 解答しなかった。	その他
小	全 国	79.1	14.9	2.2	0.1
6	小野田	100.0	0.0	0.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 算数についても同様の質問があり、すべての児童が最後まで努力したと答えています。難しい問題もあきらめずに、最後まで取り組む態度が身についています。
- 無回答はありませんでしたが、見直しをすれば間違いを避けられた問題も多数見られました。問題をよく読み、指示に従って答えたり、書き間違ったりしないように意識させていきます。